



たくよう

令和2年12月

No.82

秋・冬号

障害者支援施設
就労継続支援B型事業所
新葉学園
相談支援事業所
しんよう
介護サービス包括型
共同生活援助事業所
第1拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原 4020

TEL: 0996-37-2861 FAX: 0996-37-2981

HP: <https://takuyoukai.kobira05.info/>



人と向き合う、物と向き合う

B型事業所 業務課長 下川 明彦

新葉学園には生活支援、相談支援、就労継続支援B型、共同生活援助の四つの事業所があり、夫々が連携し利用者の生活や就労の支援を行っている。今回は就労継続支援B型事業の理念と実践を話してみたい。

B型事業所の事業は多岐に渡る。パン製造、機械部品組立・贈答品包装等の役割、また公道除草・廃棄物収集分別・給食調理補助等の事業所外での実習役割もある。職員は利用者の事業所内外での作業管理と行動支援等の「人」と向き合う業務は勿論のこと、製造品や役務の品質管理という「物」と向き合う業務を二足の草鞋として行っている。パン製造に食味形態が良いとか日持ちがするとかの品質がある様に、その他の役務にも規格に合っていない不良がない、草刈の法面が綺麗、廃棄物分別が確実に早い等の「出来映え」という品質がある。製造や役務の入札受注時は一般企業との競争がある。確かに障害者優先調達推進法により官公庁や公立学校等からの障害者施設への発注が促進されているが、それは一般企業よりも甘い品質管理を容認するのでなく、それ以上の品質管理力・商品開発力を持ち、高い倫理感と使命感を養い、事業が継続されるべきものなのである。決して不正な受注や民業圧迫があってはならない。

学校給食のパン製造を受注している製造所は県内で二十八社あるが、当方パン工場は中堅であり、障害者施設の中では最大規模の製造能力を誇る。学校給食を所管する県学校給食会は、毎年コッペパン品評会や立入衛生監査で品質管理状況を評価し公表しているが、当方は一般企業でないが故に常に注目される立場にある。適度な緊張感は職員の意識意欲維持に寄与しているかもしれない。

このコロナ禍、ウイルスを「物」とするならば、それと向き合い、正しく恐れて正しく対応したい。コロナウイルスはインフルエンザウイルスと同じくエンベロープ（脂質膜）を持つ。当初、消毒には塩素製剤が効くとされたが、脂質膜を破壊するには石鹸手洗いとアルコール消毒が合理的で、不安定で調製し辛い塩素製剤に勝っていたのである。物と向き合う場合、科学的で合理的な視点が最も重要である。

新葉学園は今年で設立三十五周年を迎え、パン製造も三十年の伝統を持つ。人間ならばバリバリ働ける壮年期を迎える。先輩達の知恵と勇気を引き継ぎ新たな歴史を刻んでいきたい。

新型コロナウイルス感染対策による

LINE

オンライン面会サービスがスタートしました！


世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、利用者様・ご家族、関係機関の皆様には、外出・外泊、来訪の制限をお願いせざるを得ない状況が続いており、当法人と致しましても、この厳しい現状を大変心憂く受け止めています。

そこで、政府が打ち出している「新しい生活様式のガイドライン」に則って、利用者様とご家族のコミュニケーションを少しでも快適に行い、精神面の安定を確保していただきたいという思いから、県の支援事業の補助を受けて「オンライン面会システム」を導入しました。

日頃、電話でコミュニケーションを取られている方でも、画面から表情が伝わることでまるで実際に会っている感覚を味わうことができる点が評価されています。是非、お気軽にご利用いただければ幸いです。



手続きは簡単！ LINE アプリに 新葉学園を登録して、希望日時を予約するだけ！

①お持ちのスマートフォン・タブレット・カメラ付パソコンのいずれかにLINEアプリ  をインストールして無料登録する。

※既に登録済みの方は、この手順は不要です。

②カメラを起動させて、以下の《新葉学園 LINE QR コード》を読み込む。



これをカメラで読み込む。

③ QR コードを読み込んだら「友だち追加」する。



追加ボタンをタップして準備完了！

④ 予約方法と面会方法

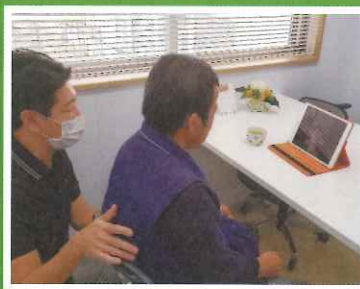
あとは、0996-37-2861 に電話をかけて、「オンライン面会予約希望」の旨伝えれば完了！

詳しい操作方法などは、職員が説明しますのでご安心ください！

実際に使っていただきました♪



▲初めての体験だから緊張するなあ・・・(´▽´)



▲支援員も一緒に会話に入って和やかな雰囲気♪



▲電話では伝わらないこの笑顔がたまりません！(＾O＾)

実際に使ってみて・・・

利用者 千電 等さん 「支援員が傍に居たので安心できました。家族の顔が見れてとても楽しかった。また、利用したいです。」

ご家族 千電 公也さん 「電話ではわからない本人の表情を確認できてとても良かったです。このサービスがもっと広がってくれたら良いなと思いました。」

【それでも実際に会って話したいなあと言う方へ】

当法人では、オンライン面会以外にもご家族のご希望や利用者様の状態に応じて、感染予防に努めた上で来園による面会も受け付けておりますので随時、ご相談ください。

ご予約・お問合せは ☎ 0996-37-2861 まで



▲構え…かっこよすぎる…



▲射程…よく狙って!



▲園長挨拶



▲司会を務めた職員コンビと
はい!チーズ!



▲職員みんなで!



▲ド迫力の演舞!



▲かっこいい…見入ってしまいます

しんよう 秋まつり



利用者 原 博美さん

コロナの影響で今年規模を縮小しての秋まつり開催となりました。その中で心踊クラブのよさこいの踊りがありました。今回は黒田武士とMEDETAを踊りました。覚えるのが難しく、練習はとて大変だったけど頑張って練習して本番では楽しく踊る事ができてよかったです。

利用者 久保 雄志さん

去る十月二十一日にしんよう秋まつりが開催されました。しかし、今回はコロナウイルスのえいきようと利用者だけの参加になってしまいました。そして、職員の田代さんと玉利さんの司会で秋まつりがはじまり、しばらくしてからよさこいの出番が来ました。きんちようしておどりを失敗してしまいました。最後までおどれて大満足でした。

生活支援員 藤崎 照矢

新型コロナウイルスが流行し、予定されていたイベントや行事が軒並み中止となる中、感染予防対策を十分に行った上で利用者さんと職員だけではありましたが、十月二十一日(水)しんよう秋まつりを開催する事が出来ました。かなり縮小したプログラムではありましたが、職員が盛り上げていこう、をスローガンに祭りの雰囲気を感じたのではないかと思います。

会場には利用者・職員で作成したポトルキャップアートがあり、記念撮影も行われ、それに花を添えるかのように司会者のジミー田代・玉利くん(両名とも職員)の絶妙なトークの掛け合いで普段以上に会場は笑顔であふれていました。通常通りに開催できなかった事は残念ではありましたが、利用者の皆さんが楽しませてくれる姿を見て、私たち職員も元気をもらえる事ができ、互いに距離を縮め、絆を深める事が出来ました。

グループホーム納涼祭



世話人 市成 なつ子

去る八月八日(土)に、グループホーム納涼夏祭りを開催しました。

利用者

敷根 春子さん

八月八日の夕方からグループホームの屋外で夏祭りがありました。グループホームだけの夏祭りは初めてでカラオケや的倒しなどちよっとしたゲームや花火がありとても楽しかったです。その中でもいちばん楽しかったのはみんなで花火をした事です。楽しかったのでまたあったらいいなと思いました。

コロナ禍の影響で利用者さんも、いろいろな規制が多い中少しでも夏の思い出を作ってもらおうと学園・グループホーム職員の協力の下に実施されました。



▲まような～ どれがいいかな?

園長の挨拶を皮切りに、カラオケ大会では芝さんの「瀬戸の花嫁」から数名の利用者さんが歌われました。また、夕食のお弁当や屋台を思わせるたこ焼き・かき氷・ヨーヨー釣り・ストラックアウト・花火等、思い思いに楽しませていらっしやいました。花火は、手持ち花火を楽しめる方やその花火を見ていらっしやる方様々でした。何よりも利用者さんそれぞれに心に残ってくれるといいなと思いました。

7 / 11

グループホーム バーベキュー

利用者 吉村 昭一さん

七月十一日の夕方からグループホームでバーベキューがありました。みんなでお肉を食べ何人かの人はアルコールを飲んでいました。楽しかったです。お肉もとてもおいしかったです。来年もバーベキューがあったらいいなと楽しみにしています。

生活支援員 坂元 亜紀子

七月十一日(土)、十七時から十八時三十分迄の時間帯に拓洋ホーム利用者全員と職員で親睦会を開催いたしました。
皆さんが、前日からとても楽しみにされていたバーベキュー。

▲焼けた、焼けた。美味しそう



いくつかのテーブルに分かれ、利用者と職員が一緒になり、お肉、野菜等をたくさん網の上に載せ、焼き上げるのを楽しみに待っていました。初めは、炭に中々火が点かず時間が掛かったテーブルもありましたが、いざ肉が焼き上がると、みんな喜んで食べられる姿は、とても微笑ましいでした。他におにぎり、飲み物もあり各テーブルで会話を楽しまれ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。いつもは、食堂で食べる食事この日はやはり違う雰囲気味わう事が出来ました。

8 / 21

施設入所バーベキュー

利用者 山崎 ますえさん

八月二十一日にバーベキュー大会をしました。職員の方々が、たくさんのお肉や野菜をいっしょうけんめい焼いてくれました。



私たちは焼けたお肉やお野菜をたくさん食べました。お肉はやわらかくてとてもおいしかったです。また、最後にかき氷も食べることができました。みんなおいしそうにたべていました。
来年もたのしいことがたくさんあったらいいと思います。

利用者 今東 惣二郎さん

みんなと焼肉を食べられたことは良い思い出になりました。
みんなたのしそうに話をしながら、おいしそうに食べていました。



▲早く焼けないかなあ

僕も、お肉や野菜もおいしかったし、ジュースも飲めてうれしかったです。
また来年も、どんなお肉を食べられるのか楽しみにしたいです。
おいしいお肉を食べたから良い年が迎えられるそうです。

8 / 29

施設入所 花火

利用者 外園 美智代さん

八月二十九日みんなで花火をしました。
外は暑かったけど、手持ちの花火を楽しみ、打ち上げ花火もみることができてすごきれいで、とてもたのしかったです。
また来年もできたらいいなと思いました。

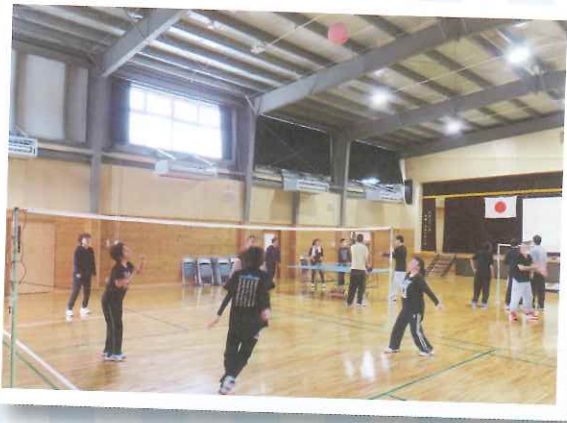


▲うわあ～ 綺麗！！

5/4~6

グループホームレクリエーション

利用者 菊池 貴志さん
利用者 濱田 ひとみさん



▲今から打つわよ！そ〜れっ！

五月四日にグループホームのレクリエーションに参加したい人みんなが学園の体育館に行き卓球やミニバレー、バドミントン、ポッチャをしました。二時間ほど体を動かしました。

五月五日に他の利用者さんと一緒に世話人さんに教えてもらいながら、がくぶちにちりめん生地や蝶とかたつむりをボンドでつける作業をしました。五月六日も他の利用者さんと一緒にハギレを使ってうさぎとねこの形をした小物を作りました。

他にもハギレとペットボトルのふたを使って小さな帽子を作りました。手を洗わない人は学園の体育館でポッチャやバドミントン、卓球、ミニバレーをして楽しみました。

早く新型コロナウイルスが落ちて川内外出や実家に外泊したいです。



▲物づくり体験（手芸）

8月

生活介護レクリエーション

利用者 寺田 秋廣さん

生活支援員 川島 里菜



▲自然に囲まれ素敵な笑顔😊❤️

生活班ではたくさんのレクリエーションがありました。藤本の滝を観に行きました。とてもきれいでした。唐浜海水浴場までバスでドライブにも行きました。砂浜できれいな貝をたくさん拾ったり、魚も見れました。暑かったけど、海がすごくきれいで楽しいでした。

新葉学園の体育館ではバドミントンをしたり、卓球をして楽しんでいきます。

早くコロナがなくなると、また楽しいことをたくさんできたらいいなと思います。

コロナ禍の中、長期間の自粛生活を余儀なくされている利用者さん方の気晴らしになればと、藤本の滝や唐浜海水浴場へドライブに出掛けたりと短時間ではありましたが、自然の力に癒され楽しむことが出来ました。久しぶりに園外へお出掛けできた利用者さん方の嬉しいような笑顔溢れる表情がとても印象的でした。

体育館で行っているレクリエーションでは、バドミントンやドッジボール、バレーやポッチャ、卓球など、それぞれがやりたいスポーツを職員と一緒に汗を流しながら楽しんでいきます。

現況、新型コロナウイルス感染症防止の為に以前のようにお出掛けすることは難しいですが、そういった状況の中でも楽しいと感じることの出来る日々を送ってもらえるようにまた色々と考え、計画していきたいと思っています。



▲水害避難訓練

火災・水害訓練

台風接近の為、公民館へ避難

利用者 S・Rさん

台風十号が接近してきたときに近くの公民館へ避難しました。

風がヒューヒューふいてとても怖いでした。

水害などがおきていたらと思うと怖いです。

被害がなくてほんとうに良かったです。

学園では水害や火災の訓練もやりました。

避難場所へどうやって避難したらいいかをちゃんと覚えることができたので良かったです。

利用者 山崎 幸子さん

台風十号がきたとき、近くの公民館へ避難に行きました。

風も強くて、怖かったです。あまり眠れませんでした。

学園でやっている、避難訓練がとても大切だと思います。

もう台風は来てほしくないし、災害が起これなければいいなと思います。



▲消火訓練中

生活支援員兼防火管理者

乙須 恒平

新葉学園では火災、水害、地震等を想定した避難訓練を年五回に渡り実施しています。

最大のテーマは「利用者さんの命、安全を守る」という事です。それを念頭に置いた上で様々な状況を想定し、訓練の計画を立て、実施しているところです。

特に学園は裏に河川がある事から氾濫する可能性も考えておかなければなりません。入所利用者の緊急時の避難先は拓洋ホーム(グループホーム)となっておりますが、避難

を判断する基準は明確か？夜勤体制等、職員がいない時にどのように対応するのか？(近隣職員への協力要請等)、安全な避難ルートは確保できているか等繰り返し訓練を行い、適切な対応や避難行動がとれるように都度見直し、改善を図っています。また避難の判断基準をより明確にする為に河川への水位計の設置や夜勤体制等、職員が少ない時でも常時水位が確認できるように、対策を検討しています。

今年九月には台風十号の接近に伴い、入所者全員が近くの公民館へ事前に避難しました。これは学園創立三十五年の中でも初めての事だったようです。気象庁もかなり早い段階から特別警報の発令を示唆しており、台風が歴史的な規模になる可能性があったことや、一〇〇年に一度の大雨が予報されていた事から、市役所に相談し、急遽避難先の調整をお願いしました。避難とはいえない環境で過ごす事

非常食について

栄養士 三輪 優子

現在、新葉学園と拓洋ハイツでは非常時の食事を三日分、飲料水を一人一日三〇分、その他に食器が使用できなくなること想定し、紙コップや紙皿も備蓄しています。

災害はいつ起こるか分からないので、職員全員が非常食の保管場所と使用方法を知っておかなければいけません。どの職員でも食事提供が行えるように、先日の職員会議の際に非常食の保管場所と作り方の確認を行いました。ジュースや缶詰などは空けてそのまま食べることができませんが、アルファ化米は水を適量入れて混ぜるなど一手間かかります。

いざという時にスムーズに食事が提供できるように、日頃から備えと確認をしっかりと行いたいと思います。



▲お湯を注いで15分(水なら60分)



▲よく混ぜたら出来上がり

思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



▲デザートバイキング 迷っちゃうなー



▲ハンバイキング! どれにしようかなー



▲串木野養護学校実習生 よろしくお願ひします



▲セタメニュー☆多わっ、おいしそう色鮮やか!!

新型コロナウイルス対策

看護師 中島 博美

今年世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスは、一月初旬に中国武漢で発生し一月十六日には国内初の感染者が出る。また、鹿児島県においても三月二十六日に最初の感染者が確認された。その後、次々と感染者が増加し、十二月六日現在鹿児島県内では六百七十三人の感染者が出ている。学園では感染症防止対策として玄関前に玄関閉鎖の立て看板を置き外部の立ち入りを規制し、事務局受付にもビニールシートを張り、来園者の対応に努めている。利用者、職員共々、毎朝の検温や健康チェック、食前の手洗い・嗽・消毒・マスクの着用を徹底している。また、ソーシャルディスタンスの観点から、居室や活動棟の定期的な換気、食堂の座席の間隔を空けた配置、下膳時の密接にならない体制等、様々な取り組みをしている。

また、学園内外の行事においても感染症防止の対策として参加を見合わせ、利用者の方々に關しては外出・外泊を規制している。当初は慣れない生活で不安を抱える利用者も居たが、取り組みの重大性を理解して貰い今日に至っている。幸い当法人では一人の感染者も出ていない事から今後も感染予防の対策を講じていながら日常生活上の注意点を皆で協力しながら取り組んでいく必要がある。



▲玄関閉鎖の看板設置



▲飛沫防止カーテン

社会福祉法人拓洋会 令和元年度決算報告書

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

勘定科目		法人全体	勘定科目		法人全体
資産の部			負債の部		
流動資産		193,114,990	流動負債		691,375,83
固定資産	基本財産	816,864,649	固定負債		305,797,182
	その他の固定資産	343,456,685	負債の部合計		374,934,765
資産の部合計		1,353,436,324	資産の部		

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	法人全体
サービス活動収益計①	406,416,467
サービス活動費用計②	391,281,040
サービス活動増減差額③=①-②	15,135,427
サービス活動外収益計④	12,444,896
サービス活動外費用計⑤	4,751,134
サービス活動外増減差額⑥=④-⑤	7,693,762
経常増減差額⑦=③+⑥	22,829,189
特別収益計⑧	6,998,509
特別費用計⑨	4,000,007
特別増減差額⑩=⑧-⑨	2,998,502
当期活動増減差額⑪=⑦+⑩	25,827,691
前期繰越活動増減差額⑫	221,713,783
当期末繰越活動増減差額⑬=⑪+⑫	247,541,474
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	0
その他の積立金積立額⑯	28,000,000
次期繰越活動増減差額⑰=⑬+⑭+⑮-⑯	219,541,474

資金収支計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	法人全体
事業活動収入計①	418,861,363
事業活動支出計②	361,078,785
事業活動資金収支差額③=①-②	57,782,578
施設整備等収入計④	4,000,000
施設整備等支出計⑤	29,888,700
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-25,888,700
その他の活動収入計⑦	4,000,636
その他の活動支出計⑧	30,927,375
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-26,926,739
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	4,967,139
前期末支払資金残高⑪	149,821,080
当期末支払資金残高⑫=⑩+⑪	154,788,219

永年勤続表彰

B型事業課長兼主任
生活支援員 野村 昌弘

入職して十四年が経ち、改めて時の早さを実感しています。

おかげさまで利用者さんと毎日楽しく過ごさせて頂いていること、施設内外から様々なチャンスを頂けていること。全てに心から感謝したいと思います。

生活支援員 宇田 千鶴

新葉学園に務め、十五年の月日が流れようとしており、永年勤続表彰を頂く事が出来ました。これも一重に周囲の支えは勿論のこと、いつも変わらず接して下さる利用者さんに幾度となく励まされてこの仕事を続ける事が出来たお陰だと思っています。

今後とも謙虚に、初心を忘れずに利用者の皆様の支援に努めていきたいと思います。



(左：野村 中央：田島 右：宇田)

世話人 田島 美智子

新葉学園グループホームに務め、十五年の月日が流れ、永年勤続表彰を頂く事が出来ました。皆様にご指導して頂き感謝致します。利用者様と接しながら色々な事に気付き、楽しく過ごせた様に思います。これからも健康に気を付けて笑顔で支援が出来る様にご指導の程、宜しくお願致します。

公用車紹介

この度、利用者様の受診や送迎等に購入しました。車内は広く、とても快適に活用させて頂いています。



グラウンド整備進捗状況



▲ R2年3月撮影



▲ R1年12月撮影



▲ R2年9月撮影



▲ R2年5月撮影

施設内研修

第一回………令和二年 七月二十二日(水)テーマ「細菌性食中毒を防ぐには」
………講師 業務課長 下川 明彦

第二回………令和二年 十月二十三日(金)テーマ「見える化による上手な電気の使用方」
………講師 日本テクノ株式会社 南九州・沖繩支店 鹿兒島 営業所 所長 有田 貴幸氏



▲見える化によって電気代を改善し、総費削減(スマートクック)



▲第1回研修風景

編集後記

朝晩冷え込む季節になりましたが、皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。コロナ禍に伴い、皆さまにとってもこれまで経験したことのない我慢の1年となったことと思います。

行事等の自粛も余儀なくされていますが、次号では利用者さんの笑顔を沢山お届けできるといい記事掲載していきたいと思しますので楽しみにして下さい。

先の見通しがつき辛い状況が続きますが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。

(川島)

【令和二年度広報委員会】

玉利 直喜
小川 淳
乙須 恒平
池田 俊彦
三輪 優子
藏前 美樹
川島 里菜

新利用者紹介



利用者 西 淳太郎さん

10月から入所している西 淳太郎です。嵐(歌手)とマンガが大好きです。皆と楽しく過ごしたいです。宜しくお願いします。

退園者

徳利 光基さん (10月5日)